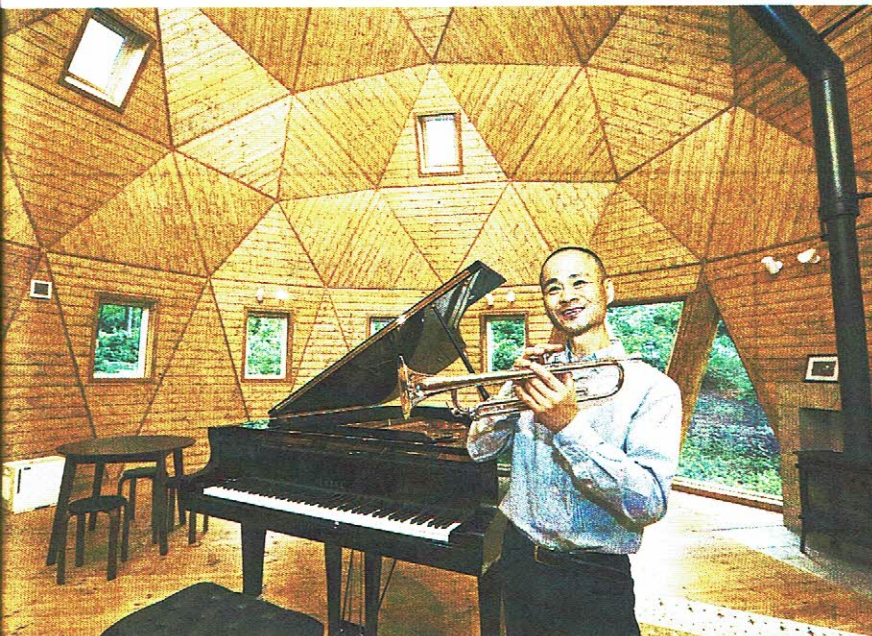


妙高の保坂さん 赤倉に昨年建設

夢を実現 森の音楽堂



妙高市赤倉地区にドーム型の一風変わった音楽ホールができた。「音たちのふるさと。妙高の音楽堂夢」。豊かな自然とともに音楽を楽しめる空間として、上越市出身の保坂秀行さん(56)＝妙高市在住＝が長年の夢を具現化させたものだ。今月上旬にはピアノコンサートも初めて開き、観光地の新たな魅力となる可能性を感じさせている。

(上越支社・栗原淳司)

「音楽を通し、妙高山をいつでも帰れる古里のように感じてもらいたい」と語る保坂秀行さん＝妙高市



Sunday Zoom Up ズームアップ

ピアニスト招き演奏会

「こんな場所で演奏できてうれしい。森の中にいるような感覚だ」。数曲弾いた後、米国出身のピアニスト、ジェイコブ・コーラさんがピアノの前で語る。

妙高山の麓、赤倉の森に建つ音楽堂。ホール内部は木製の壁で包まれ、窓からは広がる緑が見えている。

昨年11月に完成したばかりのホールには、保坂さんの夢が詰ま

子どもの頃、トランペットの構造に興味を持ち、吹奏楽部に入った。大学で機械工学を学び、楽器作りを目指して日本楽器製造(現ヤマハ・浜松市)に就職。だが、楽器関連の部署への配属はかなわなかった。福祉関係へ転職し、2007年からは地元でUターンして仕事をしてきた。

構想は浜松にいた頃から思い描



ジェイコブ・コーラさんを招いて開いたコンサ

響きが自慢 利用呼び掛け

2年前に退職を決断。妙高市の協力もあり、理想の土地を見つけた。ドーム型構造を扱う住宅メーカーに依頼して完成までこぎつけた。今はホールの運営に専念する。「このホールは全部が楽器であり、交響楽団なんです」。振り返れば、楽器や音楽、古里や自然への思いはすべて、つながっているように見えた。

ホールは4時間ごとの貸し切り方式。都市部の人を対象に、家族や友人ら少人数のイベントで常設のピアノなど楽器演奏を楽しんでもらうことを主に想定した。ただ周知は進まず、利用客は少ないのが現実だ。ホールを知ってもらうために今回、ジェイコブさんのコンサートを企画。宿泊込みのプランとし、地元温泉旅館がホールまでの送迎を協力してくれた。

「温泉や自然があつてこそこのホール」と保坂さん。コンサートを終え、「楽器を弾く人も聴く人も楽しめる空間であることが確認できた。新たな試みで厳しさはあるが、音楽が妙高への旅のきっかけになってくれればうれしい」と、夢の続きを語った。

問い合わせは音楽堂夢、0255-750030。